

## 2016年度「グッドデザイン賞」受賞

2016年9月29日に、移動機開発部の小栗 伸氏、塩田 政義氏、池畑 嘉則氏、田中 美紗氏が企画開発した「てがき翻訳」が、公益財団法人日本デザイン振興会の2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。

グッドデザイン賞とは、さまざまに展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、私たちの暮らしを、産業を、そして社会全体を、より豊かなものへと導くことを目的とした「総合的なデザインの推奨制度」です。創設以来半世紀以上にわたり、「よいデザイン」の指標として、その役割を果たし続けています。

てがき翻訳は手書き文章を翻訳するアプリケーションであり、6カ国語（英語・中国語（北京）・中国語（台湾）・韓国語・フランス語・スペイン語）と日本語との翻訳に対応しています。翻訳後の日本語には方言も対応しており、外国の方が方言を交えて日本人と楽しくコミュニケーションをとることも可能です（ただし商用版には未対応）。また、翻訳に加え、写真の読み込み、イラスト記入にも対応しています。例えば、日本でのショッピングで、商品の写真を貼り付けた上に書いた外国語の商品説明を翻訳して、買いたい商品を探すなど、言葉だけでは伝わりにくいさまざまな場面でも簡単にコミュニケーションを取ることができます。

てがき翻訳は、「音声翻訳の利用は状況によっては困難であったり、抵抗があったりする方もいるが、手書きにすることで手軽な活用を実現している。手書きにするとともに、方言等を活用することで、単に翻訳をするだけではなく、あたたかなコミュニケーションをデザインすることにもつながっている。オリンピックの開催をひかえ、サービスの広がり期待したい。」という点を評価され、今回の受賞となりました。

現在は、東京国際空港ターミナル株式会社と協力し、てがき翻訳をコンシェルジュが常駐する案内カウンターに導入して実証実験を行っています。コンシェルジュと外国のお客さまが利用するにあたって出てきた課題やご意見に対して、さらなる改善、検証を繰り返し、今後もサービスのブラッシュアップを図っていきます。

